

開業百周年記念事業の経過報告



岩船町駅開業百周年記念事業経過報告

《発起人会》

平成26年11月1日で、岩船町駅が開業百周年を迎えることになり、「百周年という節目の年にあたり、今は、無人駅で乗客数の少ない駅となったが、以前は駅を使う人も多く、駅に思い入れのある方もたくさんおられることだろう。また、神林にあつて岩船町駅という由来なども知っていただくことも大事なことはないか」という意見から、平成25年12月26日、岩船地区4名、神林地区4名で発起人会を設立した。

発起人会構成員氏名

磯部幸雄、大越孝行、大嶋芳美、笠舛光記、坂上孝雄、佐久間成一、竹内友二、本間賢五

(敬称略、五十音順)

- 第1回発起人会 平成25年12月26日
- 第2回発起人会 平成26年1月14日
- 第3回発起人会 平成26年2月4日

《実行委員会》

3回の発起人会を経て、次の事業趣旨のもと、平成26年3月7日に岩船地区6名、神林地区6名(後に7名)で実行委員会を設立した。

(事業趣旨)

私たちの「岩船町駅」は、開業から地域の発展及び生活の拠点として利用され、今も多くの方々に利用されています。

また、神林地区にある駅を「岩船町駅」と称したのには、神林村誌によりまずと、当時岩船町の方々は岩船町に鉄道を通すよう運動を展開していたということですが、地盤の関係で現在の位置に決定し、駅名を当時の岩船町長と西神納村長が、時の鉄道院総裁に陳情し「岩船町駅」に

なったという経緯があります。

この度、節目の年を迎えるにあたり、開業百周年記念事業を行い、先人の方々に敬意を表するとともに、これからも地域の皆様で「岩船町駅」の大切さを想い、利用していただくという趣旨のもと行ったものであります。

実行委員会構成員氏名

- 会長 大嶋芳美
- 副会長 磯部幸雄
- 監事 竹内友二、大越孝行
- 実行委員 坂上孝雄、佐久間成一、佐藤紀代美、須貝慎一郎、西坂寛、本間賢五、増田豊尚、横山房夫、渡辺誠

(敬称略、五十音順)

- 第1回実行委員会 平成26年3月7日
- 第2回実行委員会 平成26年4月1日
- 第3回実行委員会 平成26年4月25日
- 第4回実行委員会 平成26年5月27日
- 第5回実行委員会 平成26年7月9日
- 第6回実行委員会 平成26年7月25日
- 第7回実行委員会 平成26年7月28日 (神林地区)
- 第8回実行委員会 平成26年8月29日 (岩船地区)
- 第9回実行委員会 平成26年9月11日
- 第10回実行委員会 平成26年10月3日

- 第11回実行委員会 平成26年10月28日
- 第12回実行委員会 平成26年11月21日
- 第13回実行委員会 平成27年2月6日

《岩船町駅開業百周年記念式典等》

神 事

日時及び場所 平成26年11月1日午前10時 岩船町駅構内

- 一、開式の儀 一、祝詞奏上
- 一、修祓の儀 一、玉串奉奠
- 一、除幕の儀 一、撤饌の儀
- 一、清祓の儀 一、昇神の儀
- 一、降神の儀 一、閉式の儀
- 一、献饌の儀

記念写真撮影

式 典

日時及び場所 平成26年11月1日午前10時45分 岩船町駅構内

- 一、開式の辞
- 一、実行委員会会長挨拶
- 一、来賓祝辞
- 一、来賓紹介
- 一、記念事業経過説明
- 一、招待者紹介
- 一、招待者代表挨拶
- 一、閉式の辞

祝賀会

日時及び場所 平成26年11月1日午後0時 岩船駅前(有住吉屋

- 一、開宴の挨拶
- 一、来賓祝辞
- 一、乾杯
- 一、祝宴
- 一、閉会の挨拶
- 一、万歳三唱

参列者

- 来 賓 村上市長 大滝平正、JR村上駅長 伊藤良寛(代理出席
JR村上駅副駅長 広川昌也)
- 新潟県議会議員 小野峯生、新潟県議会議員 片野猛
- 村上市議会副議長 平山耕
- 村上市議会議員 木村貞雄、村上市議会議員 長谷川孝
- 村上市議会議員 川崎健二、村上市議会議員 竹内喜代嗣
(敬称略)
- 招待者 新潟リハビリテーション大学 学長 野田忠
村上市岩船駅前 山崎與次、村上市八日市 工藤新一
(敬称略)

《その他事業経過》

村上市長、JR村上駅長へ事業協力依頼 平成26年3月28日
事業後援依頼 平成26年5月

後援事業所等

村上市、JR東日本村上駅、新潟日報社、村上市観光協会、岩船地区区長会、神林地域区長会、神林商工会、岩船商工業会、岩船まちづくり協議会、西神納地域まちづくり協議会、かみはやし農業協同

組合、新潟漁業協同組合岩船港支所、新潟リハビリテーション大学、
村上新聞社、いわふね新聞社

思い出の作文・写真募集 平成26年6月

寄付金募集 平成26年7月

記念碑設置

場所 岩船駅前構内

製作 村上市岩船上町 石のタケウチ

揮毫 村上市小口川 鈴木俊一氏

駅名由来看板設置

場所 岩船駅前構内

製作 村上市今宿 ニスケ

思い出の作文・写真等展示

展示数

作文26名26点、写真等12名34点

展示場所及び月日

岩船地区文化祭(岩船小学校)

平成26年11月3日

神林地区文化祭(神林農村環境改善センター)

平成26年11月2日・3日

JR岩船町駅連絡路 平成26年11月1日～5日

記念誌発行

発行日 平成27年3月

岩船町駅開業百周年記念事業収支

(収入)

寄付金 188万4327円

(個人 1965件 116万4151円)

(事業所・団体 119件 72万176円)

市負担金 60万円

受取利子 158円

合計 248万4485円

(支出)

記念碑・駅名由来看板経費

131万5570円

(記念碑建設 118万8千円、駅名由来看板 5万19

70円、整地費 7万5600円)

神事・式典等経費

31万9641円

(神事・式典 14万3910円、会場用テント借上げ料

等 17万5731円)

記念誌経費 49万650円

(318部印刷)

事務経費 35万8624円

(封筒紙代通信費等 31万2271円、チラシ新聞折込

み代 4万6353円)

合計 248万4485円